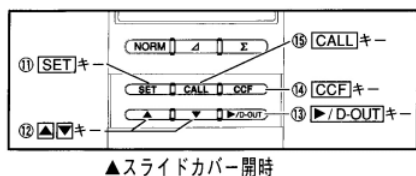
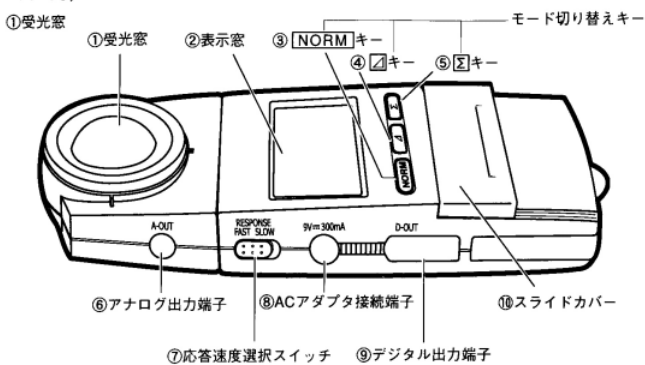


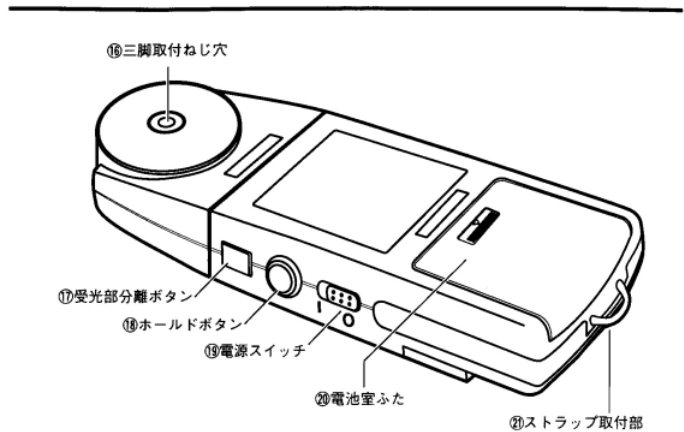
照度計の取り扱い

各部の名称と機能

<T-10/T-10P>



- ②表示窓
モード切り替えキー
- ③ [NORM]キー 通常の照度測定モードへの切り替えを行います。
 - ④ []キー 照度差/照度比測定モードへの切り替えと、照度差/照度比表示の切り替えを行います。
 - ⑤ [Σ]キー 積算照度測定モードへの切り替えと積算表示の切り替えを行います。
 - ⑥ アナログ出力端子 レコーダなど外部機器へのアナログ出力を行う端子です。
 - ⑦ 応答速度選択スイッチ ... “FAST”と“SLOW”の切り替えを行います。
 - ⑧ ACアダプタ接続端子 AC-A10（別売付属品）を接続する端子です。
 - ⑨ デジタル出力端子 測定データをパソコンやプリンタに出力します。
 - ⑩ スライドカバー



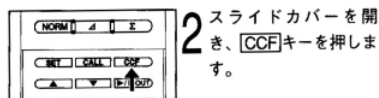
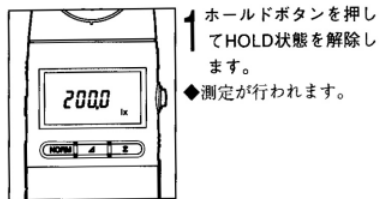
- ⑪ [SET]キー ・SETモードに入ります。
・数値の設定を確定します。
- ⑫ [▲▼]キー 数値や小数点位置の変更を行います。
- ⑬ [D-OUT]キー ... 通常モードでは、プリンタにデータを出します。
SETモードでは、[▲▼]キーを使って数値などの変更を行うとき、変更箇所を移動させます。
- ⑭ [CCF]キー 補正係数の設定を行います。
- ⑮ [CALL]キー 設定したデータを呼び出します。
- ⑯ 三脚取付ねじ穴
- ⑰ 受光部分離ボタン 受光部を外すとき、このボタンを押します。
- ⑱ ホールドボタン
RUN状態 ボタンが突出した状態。測定が継続して行われている状態です。
HOLD状態 ボタンを押し込んだ状態。測定を一時中断し、そのときの測定値を保持します。もう一度ボタンを押して離すと、RUN状態に戻ります。
- ⑲ 電源スイッチ
- ⑳ 電池室ふた
- ㉑ ストラップ取付部

補正係数の入力

補正係数 (C.C.F.)

本器は、弊社の校正光源と大きく異なる分光分布を持つ光源下の測定において、標準分光視感効率V(λ)との相対分光応答度のわずかなずれに起因する指示差が発生します。これを補正するため、補正係数を設定する機能としてC.C.F.機能（モード）を搭載しています。（C.C.F.：Color Correction Factor）
C.C.F.機能は上記の色補正以外に、複数のT-10間の指示差補正や、任意校正に用いる事ができます。

<補正係数を用いた測定>

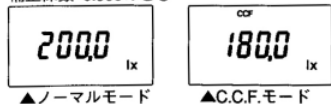


●C.C.F.モードでは、以下の値が表示されます。

表示値=測定値×補正係数 (C.C.F.)

もう一度[CCF]キーを押すと、C.C.Fモードは解除され、補正していない測定値が表示されます。

例) 補正係数=0.900のとき



●設定された補正係数は、あらたに変更するまで保持されます。

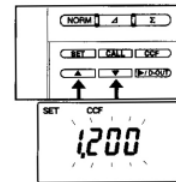
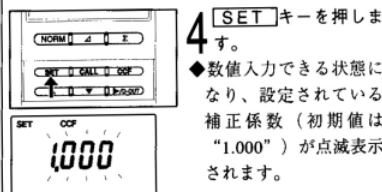
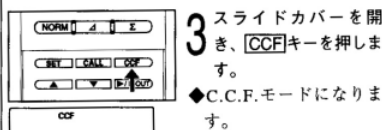
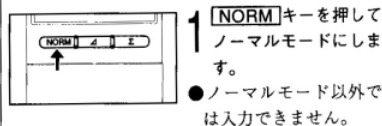
<補正係数の設定方法>

補正係数(C.C.F.、以下補正係数)の設定には、以下の2つの方法があります。
設定した補正係数は、電源OFFや電池交換でも消去されることなく保持されます。

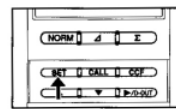
①補正係数を直接入力する

補正係数が既知である場合、直接入力する方法です。

■補正係数の設定



5 ▲▼キーで数値を変更します。
◆0.500～2.000の範囲で、表示されている数値が0.001単位で変化します。また、▲▼キーを押し続けると数値が連続変化します。
●設定を中止する場合は[CALL]キーを押してください。



6 変更ができたなら[SET]キーを押します。
◆補正係数が設定されます。
●設定した補正係数を確認したいときは、[CCF]キーを押してC.C.F.モードにしてから[CALL]キーを押します。キーを押している間、現在の補正係数が表示窓に表示されます。

蛍光灯の種類

| 分類 | 俗称 | 略図 | 構造 | 特長 | 配光 | 用途 | |
|----------|---|---|--|----------------------|--------------|---|----------------------------|
| | | | | | | 適用 | 例 |
| 直付け・吊り下げ | トラフ |  | ランプ露出形 安定器などの点灯に必要な部品を収めたケースにソケットがついただけ | 安シンプ 小 価 ル形 | 半直接 | 簡素な光源が望ましい所 高照度を必要としない所 光源が見えない所の照明 | 店舗一般 保安灯 建築化照明 |
| | 逆富士 |  | ランプ露出形 意匠・光学的に考慮した反射板に器具の形が構成されるもの | 外観良 照明率 比較的良 | 半直接 | 明るさ本位の場所の全般照明 | 店舗一般 通路・ガレージ 駅舎ホーム |
| | H形 |  | ランプ露出形 ランプソケット部分をカバーしているもの | 比較的安価 スマート | 全般拡散 半直接 | 明るさ本位の場所の全般照明 | 店舗一般 事務所一般 駅舎・学校 |
| | 反射笠 |  | ランプ露出形 ケースより張り出している反射笠付きのもの | 照明率良 | 直接 | 経済的な高照度全般 局部照明 光源が見えない所の照明 | 工場全般 ほこりの多い所 光り天井用 |
| | 反射笠 |  | 上方光と深い遮光角の反射笠付き | 照明率良 照明の質良 | 半直接 | 高環境工場全般照明 | 精密工業工場 自動車組立工場 |
| | カバー付き |  | ランプを透光性のカバーでおおったもの | 意匠的 照明の質 比較的良 | 半直接 | 意匠を要求される全般 照明埋込みができない所の質の良い照明 | 高級店舗 銀行営業室 応接室 |
| 埋込 | 露出形(半埋込形) |  | ランプが天井面より下に出て露出しているもの | 比較的安価 スマート | 半直接 | 明るさ本位の場所の全般照明 | 店舗一般 通路・駅舎 |
| | 下面開放 |  | ランプが天井面より凹んだ所にあるが露出しているもの | 照明率良 照明の質 比較的良 | 直接 | 一般室の全般照明 | 事務所一般 店舗一般 通路・学校 |
| | |  | まぶしさを防ぐため、ランプ間にも反射板を設けたもの | 照明の質良 | 直接 | 高照度の一般室の全般照明 | 事務所 学校 店舗 |
| | 下面カバー |  | 枠部以外は天井面より凹んだ所でありランプ下面は透光性の平板で室内と仕切られているもの | 落ち着いた 照明の質良 | 直接 | やや高級な一般室の全般照明 | 高級事務所 高級店舗 |
| み | 下面カバー ノングレア |  | 特に配光を制御する透光性の平板を使用したもの | 照明率良 照明の質 特に良 | 直接 | 高照度の一般室の全般照明 | 高級事務所 高級店舗 |
| | 下面ルーバー |  | 配光を制御するためアルミルーバーを使用したもの | 照明の質 特に良 | 直接 | 高照度の一般室の全般照明 | 店 事 務 所 議 室 |
| | |  | まぶしさを防ぐため、ルーバーと反射板を組み合わせたもの | 照明の質 特に良 | 直接 | やや高級な一般室の全般照明 | 店 事 務 所 議 室 |
| | |  | まぶしさを防ぐため、パラボラ鏡面ルーバーを使用したもの | 照明の質 特に良 | 直接 | 高照度の一般室の全般照明 | 店 事 務 所 議 室 |
| ペン皿 |  | ランプと室内を仕切る透光性のカバーが天井面より凹出しているもの | 意匠的 照明の質 比較的良 | 直接 半直接 | 意匠を要求される全般照明 | 高級店舗 銀行営業室 ホール・応接室 | |

表 工事用蛍光灯器具の一般的な種類と用途（出典：参考文献[4], p.38）